

令和6年度

参加無料
事前申込

日本語学習支援実践者研修

神奈川県内で地域の日本語学習支援に携わる方対象

外国人の受入れが進み、国では、生活、就労等の活動場面に応じた地域日本語教育の在り方を示すなど、新しい枠組みをつくっています。地域でも様々な立場で日本語学習支援に関わる方が増えています。今後に向けて、「日本語教育の参照枠」や「生活Can do」などの考え方を学び、よりよい日本語学習支援ができるよう、一緒に考えてみませんか。



第1回

2025年 2月 5日 水

※初日のみ水曜日開催です。

時間 13:00~15:00

開催場所 かながわ県民センター

内容 地域日本語教育を概観する
地域日本語教育の特徴や課題のほか、「日本語教育の参照枠」「生活Can do」等、地域日本語教育に関わる新しい枠組みや取組を知る

第2回

2025年 2月 13日 木

時間 13:00~15:00

開催場所 Zoom

内容 自身の取り組みを振り返る
「日本語教育の参照枠」「生活Can do」の考え方を参考に、行政や国際交流協会、地域日本語教室等それぞれの立場で地域日本語教育に関わる取り組みを振り返る

第3回

2025年 2月 20日 木

時間 13:00~15:00

開催場所 かながわ県民センター

内容 外国人住民の視点から考える
外国人住民の声を聴き、地域の日本語教室のあり方や活動を検討する

第4回

2025年 2月 27日 木

時間 13:00~15:00

開催場所 Zoom

内容 研修全体の振り返り
研修で学んだことを振り返り、今後どのように活かしていくか考え、共有する

講師（第1回・第2回・第4回）

講師（第3回）

金田 智子氏 学習院大学 文学部 日本語日本文学科 教授

（公財）かながわ国際交流財団

2006年に「生活のための日本語」に関する調査研究を始め、以来、何をどのように、ということに取り組んでいる。地域向け日本語教室の運営、教材・ポートフォリオの作成、教師育成、「やさしい日本語」ワークショップ実施などを通じて行っていることは「学習環境作り」。身近なところでの実践を重ねつつ、「日本語教育の参照枠」の考え方に基づく「生活Can do」を軸にしたモデルカリキュラムも開発中。

お申込み

下記URLの申込みフォームに必要事項を記入してお申込みください。2次元コードからもお申込み可能です。

https://willap.jp/p/acc_4614/Kanagawanihongo_jissenR6/



対面会場

かながわ県民センター
（横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2）

JR・東急東横線・京浜急行線・相模鉄道線
「横浜駅」きた西口 徒歩5分

<https://maps.app.goo.gl/mkMs65NU26zV6ZJ56>



定員

15名

※応募者多数の場合、抽選とさせていただきます。
※各回参加も可能ですが、全回出席を前提として行います。

【主催】神奈川県 【実施】（公財）かながわ国際交流財団 地域日本語教育推進グループ TEL:045-620-0011/ Mail : nihongo_join@kifjp.org

文部科学省 文部科学省「令和6年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用